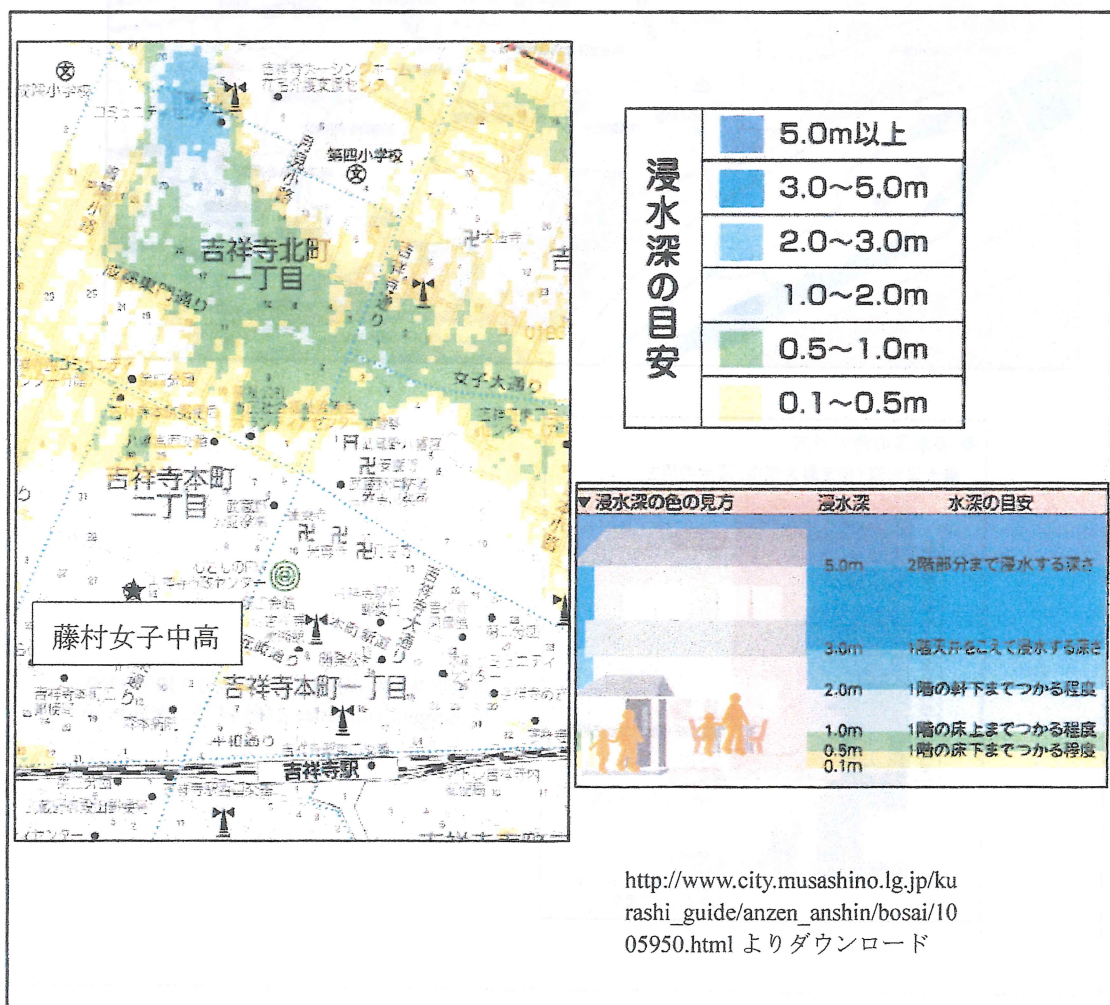


もも：私はハザードマップについて調べました。ハザードマップとは、武蔵野市や練馬区などが自然災害の被害を予測して地図に表したものです。自然災害の予測以外にも避難場所や、避難をする時に特に注意が必要な場所などの情報がのっています。ハザードマップでも、災害に応じていくつか種類があります。大地震が発生したときに備えるもの、台風などの大雨による浸水を予測するもの、土砂災害の危険性をまとめたものなどがあります。

りん：私は武蔵野市のハザードマップを調べました。みんなに見てもらいたいハザードマップは、資料12の藤村女子中学・高等学校がある武蔵野市の浸水を予測したハザードマップです。これを見ると、藤村、吉祥寺駅付近は、大雨が降ってもほとんど浸水が予想されていないことが分かります。この地図の中で、予測されている最も被害の大きい浸水は2~3mくらいです。したがって、吉祥寺駅周辺のエリアは比較的安全だと言えます。さすが、住みたい街ナンバー1に選ばれたことのある街だと感じました。

資料12 武蔵野市の浸水を予測したハザードマップの一部



まゆ：次に、資料 13、藤村の姉妹校の東京女子体育大学がある国立市の浸水を予測したハザードマップを見て下さい。資料 12 と資料 13 の国立市の浸水を予測したハザードマップを比較しておどろきました。国立市では 10m 以上の浸水が予測されている場所もあるからです。

資料 13 国立市の浸水を予測したハザードマップの一部

